※ 特別支援学級作品展

特別支援学級作品展は、今年度も郡市文化展と同時に同じ会場で行いました。同時開催ということで、多くの方々に特別支援学級児童生徒の頑張りのあとを見ていただくことができましたことをうれしく思います。

在籍数が年々増えており、２００名を超す児童生徒が１人１点（または共同制作）を出品しました。展示スペースを少し譲っていただいて、全ての作品を展示することができました。展示場所は入ってすぐのとてもよい場所であり、多種多様の作品が並んでいるため、目をひきました。児童生徒のよさが表現され、また、頑張りの伝わる作品が多く、特別支援学級に対する理解啓発ができたのではないかと思います。

作品の返却に当たっては各支部の文化部長の先生方にご協力いただきました。ありがとうございました。

今年度、特別支援学級の担任の先生方は、文化展を振り返って次のような反省をしていました。

○　意欲的に作品作りをすることができた。
○　作品の内容が充実していてよかった。
　　個性あふれる作品であった。
　　力作揃いで見応えがあった。
　　すばらしい作品が多かった。
○　作品展を見に行った児童生徒にとっては、他の児童生徒の作品にも関心を持つことができた。
○　児童生徒の頑張りを交流することができてよかった。
○　文化展と同じ会場であるので、たくさんの人に見ていただけてよかった。
○　全員の作品が展示され、とても励みになる。
○　全員賞状がもらえ、全校児童生徒の前で表彰されたことをとても喜んでいた。
○　どの作品も見えるように工夫して展示してもらい、ありがたかった。
○　作品の展示の時、ブロック代表の先生方が進んで作品を名簿と照合して展示し、撤去時には作品のチェックや賞状の配布等協力してできた。

▲　額入りの作品は、展示を考慮してかべに固定する準備をして出品してほしい。
▲　スペースの都合で作品がひしめき合っている。もう少し余裕のある展示はできないか。
▲　名票が雑に貼られているものがあった。見てもらうものであるという意識を持って指導者が注意を払ってほしい。

次年度も１人１作品（グループ）で特別支援学級作品展として継続したいと思います。在籍数の増加により展示場所の確保が課題ですが、工夫をしていきます。